



水辺の簡単キット P86~

水辺の基本資材 P102~

水質改善資材 P116~

GB ウォーターフォール

WEB動画



ウォーター
フォール施工例



連結
可能

複数台連結すると見た目も豪華な演出ができます。

楽々
施工

初めての方でも失敗しない水平に流れる水流が簡単に作れます。



設置高さや台数によって必要なポンプが変わります。お問合せ下さい。



簡単に連結できるので、巾の広い滝も綺麗に演出されます。
※特注でステンレス仕様も可能です。

GB ウォーターフォール

特長 簡単に連結できるので、巾の広い滝も綺麗に演出されます。 ※特注でステンレス仕様も可能です。



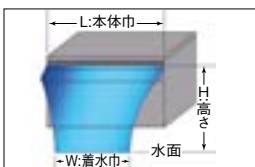
■仕様
接続ホース口径φ32mm/φ40mm
サイズ/ W380×D280×H190
材質/ ABS製



動画
ホームページを
ご覧ください。



GBウォーターフォール	
C50ML300	¥ 51,500



■W: ウォーターフォール 着水巾参考表

	L:380mm (1個)	L:760mm (2個)	L:1,140mm (3個)
H:500mm	330mm	610mm	1,000mm
H:1,000mm		470mm	840mm
H:1,500mm			720mm
使用ポンプ	Eco-X7500	Eco-X13000	Power-X14000

※1個当たり約40~60L/minの水量が必要です。※吐出量は、バルブにて調整してください。※左記は実験値の為、多少の誤差が生じる可能性があります。※ポンプはP110参照。※G1への口径の変換が必要です。



3台連結+4段階使用例

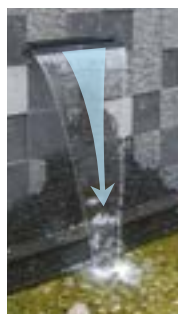
ウォーターフォールのポイント(きれいに水を出すアドバイス)

無理な計画をせずに、水の特徴を考慮する。

❶ 高低差を付け過ぎない。

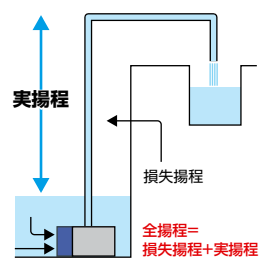
落下する水は、先が細くなる特性があります。細くならない様にするにはより性能の高いポンプで水量を増やす必要があります。ポンプは余裕を持たせて、バルブで水量調整するのがベストです。

また、高低差があると迫力が出る反面、水面に落ちた水が大きく跳ねて池からはみ出したり、水が減ったり、落水音が大きくなるなどのデメリットが生じることもあります。



❷ 高低差と水量を把握して、ポンプ選定を行う。

ウォーターフォールの計画設計で最も重要となるのは、ポンプの選定です。ポンプの選定には、水を①どれだけの水量を②どの高さまで持ち上げるか?が、カギになります。右図の損失揚程とは、配管、ホースの中を水が通る時に生じる摩擦損失の事です。**実揚程**とは、水面から吐き出し高さの事です。(※揚程については110ページも参照下さい。)当社のポンプ性能はすべて全揚程で記載しています。配管の長さなども考慮して、計画的に選定を行います。計画の際にはぜひお気軽にご相談下さい。



ご注意 | 仕上げの設置工事では水の出口が水平になるように注意して、ポンプやバルブは将来的に交換などのメンテナンスが出来るようにしましょう。